

学び、行動するPTA・・・健全育成分科会 活動中！

高P連では、これまで行ってきた会員へのアンケート調査結果を基に、青少年の健全育成に関わる事項の中から会員の関心が高いテーマを取り上げ、その調査検討や会員への情報提供を行う健全育成分科会の活動を平成29年度より実施しています。

今年度は、「キャリア教育」「保健安全教育」「人権教育」の3つのテーマの健全育成分科会を開設し、27名の会員が参加しています。

第1分科会「キャリア教育」



県大会で奨学金の講演会を実施

進学や就職を控えた高校生、保護者にとって、進路選択は大きな関心事です。希望の進路実現には学習やスキル向上だけでなく必要な資金の確保も大きな課題です。

学費、奨学金、生活費など、進路選択に係る様々な資金の給付、借入、返済等の仕組みや実情について、専門家への聞き取りなどに基づく調査結果をとりまとめます。

第2分科会「保健安全教育」

青少年の健全な心身の育成を図るため、不規則な生活や誤った情報・理解に基づく行動から問題が顕在化する“食育”と“薬物乱用防止”の観点から取り組んでいます。



入念な調査と情報交換

専門家からの情報提供により、正しい知識を学び、実践例などの情報収集などとあわせ、家庭やPTAでできる対策としてとりまとめます。

第3分科会「人権教育」



県大会でも多くの参加

子どもの人権が脅かされるような事件等が多く発生している社会状況を踏まえ、体罰、虐待、性犯

罪、いじめ、性的マイノリティ、インクルーシブ教育推進の観点からニュースや当事者の声などの関連情報の収集を行うことにより実態を把握し、理解を深め、広く会員に提供可能な情報としてとりまとめます。

健全育成分科会 全体報告会

健全育成分科会の活動により得られた情報を広く共有するため、各分科会の活動内容と成果の報告を行う全体報告会を次のとおり開催します。

本報告会は分科会会員以外の各校PTA会員の方もご参加いただけますので、奮ってお申し込みください。

日時 令和2年3月22日(日) 15:00～17:00

会場 産業貿易センタービル 地下1階会議室
(横浜市中区山下町2番地)

* 各校PTAを通じて3月10日までに事務局へメールでお申し込みください。

「学び、行動するPTA」団体表彰

PTA活動に於いて顕著な功績が認められる団体に対して、その成果と功労に報いると共に、表彰を通してその活動の内容を広く告知することにより会員各位の活動意欲を高揚しPTA活動の向上に資することを目的に、今年度から実施しています。(平成30年度の活動に対し、令和元年度定期総会で8校を表彰しました。)

鶴見高校PTA
元石川高校PTA
神奈川総合高校パートナーズ国際交流部
津久井浜高校PTA



深沢高校PTA
平塚商業高校PTA
山北高校PTA
相模原青陵高校PTA

神奈川県立高等学校PTA連合会 令和元年度定期総会

令和元年6月16日にパシフィコ横浜において令和元年度神奈川県立高等学校PTA連合会定期総会が各校PTA会長、校長が多数出席し開催されました。

高P連会長、校長会議議長、教育長、安全振興会理事長からのあいさつの後、平成30年度まで各校PTAで活躍され退任した99名の方々に感謝状が贈呈されました。また、今回初めて、顕著な功績が認められるPTAを評価する「学び、行動するPTA」表彰があり、8団体が表彰されました。(詳細は「前頁」参照)

議事に移り、第1号議案では、平成30年度の活動報告、事業報告、決算が承認され、第2号議案では、役員を正会員とすること、賛助会員の創設、会長任期の見直し(役員任期に関わらず、再任1回まで)規約改正が提案され、意見交換の後、承認されました。規約改正を受け、第3号議案で中野会長の再任を含む、新役員の選任が行われ、新役員12名、各地区協議会会長の新理事10名が選任されました。

第4号議案では、新年度の事業計画に対し、健全育成事業やホーム

ページの改善、研修大会の見直しについてなど、建設的な意見、要望が出されました。その後、活発な議論がなされ、活動方針、事業計画、予

算が承認されました。予定より早く終了し、令和の高P連は「学び、行動するPTA」をスローガンに円満な船出となりました。

令和元年度 定期総会 成立要件と主な承認案件

【出席者】		【決議事項】	
PTA会長	120名	*平成30年度事業報告・決算報告・監査事項	
校長	113名	*規約改正・細則変更報告	
役員・理事	21名	賛助会員制度の創設、会長任期の見直し	
委任状	39通	*令和元年度 役員選任	
合計	293名	*令和元年度 活動方針・スローガン・ミッション	
総会員数	309名	*令和元年度 事業計画(案)・予算(案)	

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
平成30年度 ・決算	一般会計	29,336,165	27,003,083	2,333,082
	研修事業会計	10,226,035	8,482,998	1,743,037
令和元年度 予算	一般会計	26,936,982	26,936,982	0
	研修事業会計	8,943,037	8,943,037	0



再任された中野会長



令和元年度 神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

後列左から

葛山監事、米山総務、荒井理事(湘鎌)、渡邊監事、池理事(横浜北)、馬場副会長、前田理事(横浜南)、井上理事(相模原)、佐々木副会長、吉川理事(県西)、戸村理事(平秦)、廣川総務



前列左から

大串会計、安田会計、廣間総務、佐藤副会長、石倉副会長、中野会長、佐藤理事(横浜中)、五本木理事(横三)、栗原理事(県央)、片岡理事(川崎)

研修大会

～午後開催も分科会まで大盛況！～



令和元年7月14日、各校から910名が参加し研修大会を開催しました。前日まで埼玉で行われた関東大会と連日の開催となったため、参加が懸念されましたが、午後からの2部構成での開催とし、短い時間ながら充実した研修大会となりました。

前半はテレビやラジオで活躍中のレモンさんこと山本シュウ氏をお招きし「レモンさんのビタミントーク～今日からできるコミュニケーション力」として、とても強く印象にの

こる軽快なトークで、人と人とのつながりの大切さ、生きているだけで幸せであることを教わりました。

後半は、6つの分科会を実施しました。第1分科会は、「最近の高校生事情などの情報提供」として、4人の講師から「青少年の犯罪状況や高校生の被害事件についての情報提供」、「最近の高校生事情、高大接続改革、奨学金制度について」、「成年年齢引き下げに伴う消費者教育について」講演をいただきました。第2分科会は、「PTA活動支援①運営編」、第3分科会は「PTA活動支援②企画立案編」、第4分科会は「PTA活動③広報編」としていずれもグループディスカッションを中心に各校の実態などの意見交換が活発に行われました。第5分科会は、「健全育成①キャリア教育」として親世代

の今後のキャリアについてを、第6分科会では、「健全育成②健康的な生活習慣」として「高校生の成長と食事の関係」について意見交換を通して食や睡眠の大切さを学びました。

今回も、スマホからすぐにアクセスできるアンケートを行いました。参加者の4割以上から回答をいただき、評価だけでなく、「面白かった」、「楽しかった」、「他校の活動がとても参考になった」など多くの意見をいただきました。



研修大会分科会

分科会	テーマ	講師
第1分科会	最近の高校生事情	神奈川県警察本部少年育成課、ベネッセコーポレーション、進研アド、神奈川県消費生活課
第2分科会	PTA活動支援①運営編	高P連（役員・理事）
第3分科会	PTA活動支援②企画・立案編	高P連（役員・理事）
第4分科会	PTA活動支援③広報編	高P連（役員・理事）
第5分科会	健全育成①キャリア教育	NPO日本キャリアコンサルタント協会理事
第6分科会	健全育成②健康的な生活習慣	山下純夫氏



全体会講師 山本シュウ氏
レモンさんのビタミントーク



第1分科会



第3分科会

第57回神奈川県立高等学校PTA連合会大会 ～「学び・伝え・活かす」をテーマに～



大会は令和元年12月8日パシフィコ横浜会議センターにて、昨年同様、「学び、伝え、活かす」をテーマに、今年も約1,000人が参加し盛大に開催されました。開会式、高P連関連の表彰に続き、安全振興会の作文コンクールの最優秀賞を獲得した七里ガ浜高校、新城高校の生徒の朗読が行われました。高校生の新鮮な視点からの作文は安全や健康の大切さを再認識する契機となりました。

広報紙コンクール、広報紙表紙コンクールの表彰式では、多くの応募作品の中からPTAとして必要な情報を伝えるとともに、企画・デザイン性、インパクトなどを総合的に判断して評価された広報紙を作成したPTAが表彰されました。

今年度も広報紙コンクールの表彰式は、受賞校に事前に受賞内容を伝えずに、式で各賞を発表する形式を

とりました。最優秀賞に選ばれた七里ガ浜高校の広報紙のメイン特集「未来に向けて学びが変わる」は、AI（人工知能）の普及で社会が大きく変わりゆく中で、今後の教育の行方、あるべき「学び」の姿を探り、子どもの将来を気に掛ける親の思いに応えた好企画と高く評価されました。

午後の全体講演は、東海大学准教授で陸上競技部駅伝監督の両角速氏による「前に進む力」をテーマに、昨年、箱根駅伝で初の総合優勝を成し遂げた「東海大学」の駅伝部の活動やこれまでの選手、高校駅伝の指導などを通じたエピソードをもとに示唆にとんだ講演となりました。（詳細は「講演」欄参照）

続いて行われた地区発表は、各校の特徴が伝わる素晴らしいものでした。

鶴嶺高校は、「体育祭の浴衣踊り」のための「着付け教室」を通して、その先に「国際交流」にもなる奥深い活動が大変参考となりました。

横須賀大津高校は、「幸せの青い鳥を探して」のテーマで、アンケート・インタビューの報告を軸に、特

にステップアップ委員会などの新たな取り組みは、他校でも大変参考となるものでした。

その後に行われた分科会は、「キャリア教育」「保健安全教育」「人権教育」の3つの健全育成分科会に加え、「インターネット社会」「コミュニケーション」、そして研修大会で好評を博した「最近の高校生事情」を加え、6つのテーマで行われました。各分科会では、テーマに基づく、講演や討議により参加者の理解を深めることができました。



情報交換会は、地区を越えてPTA活動について語り合い、親睦を深めるための有意義な時間となりました。今回行ったアンケートでも、長い時間でしたが、高い評価が得られ充実した大会となりました。

講演

「前に進む力」 ～東海大学陸上競技部駅伝監督 両角 速 氏～

東海大学体育学部競技スポーツ学科准教授で陸上競技部駅伝監督の両角速氏から、大学駅伝の合宿の間合を縫って講演をいただきました。

華々しい活躍をした選手時代を経て、監督として佐久長聖高校では、グラウンド作りから始めて全国制覇を成し遂げる名門校に育て上げ、東海大学では、箱根駅伝の予選落ちを経験するところから総合優勝を果たすまでの挫折、栄光、様々なエピソード

を映像も交えながら分かりやすくお話しいただきました。

「勝つために補強と育成を大事にするが、自身も体重を減らし、選手に本気度を見せ、『逃げるな、結果を恐れるな、言い訳をするな』をモットーに勝つことだけではなく、スポーツを通して世の中に貢献している人材を作っていくことが目指していること。」と熱く語られました。

これまで以上に「箱根駅伝」を見

るのが楽しみになる講演となりました。



両角氏の講演



浴衣の着付けからはじまる、一瞬にして注目を集めるインパクト十分な発表でした。「体育祭で全員が浴衣を着て踊る」という45年目になる伝統行事の継承のため、長年にわたりPTAとして「浴衣着付け教室」を開催・支援してきたことが報告されました。近年は、さらなる活動「～自分で浴衣を着られたその先に～」として、着付けが海外交流プログラムにも生かされていることも説明があり、日本文化とPTA活動と海外交流が連携された、理想的な取り組みとして好評を博していました。

「幸せの青い鳥を探して」というテーマに乗せて、各委員会の内容が説明される寸劇に一気に引き込まれるものでした。

伝統校のPTA活動は、地域・卒業生も上手に巻き込んだ広がりを持っている素晴らしいものでした。また、アルコールパッチテストやプリント届けてますかキャンペーンなど、他校にも大いに参考となる取り組みが報告されました。そして何よりも「チルチルミチル」という言葉が頭に残る、印象的で楽しい発表でした。



分科会

第1分科会

「保護者のためのスペシャルセミナー」
～子どもを進学させるお金の話～

講演 奨学金なるほど相談所
奨学金アドバイザー 久米忠史氏

所得が伸びないこれからの時代の、借りの側から見た、「奨学金」や「教育ローン」の借り方、返済の方法、そのタイミングなど、今までにない視点で詳しく説明していただきました。

1時間があっという間の密度の濃い内容で、1、2年生と、3年生、大学生では、注意するポイントが違うので、今後も引き続きテーマとして取り上げていきたいものでした。

第2分科会

「薬物乱用防止」

講演 県薬物対策指導者研修会講師
健康教育アドバイザー 安藤晴敏氏

今や身近な生活の中にまで及ぶ薬物の誘惑や被害から子どもたちを守る為に薬物依存者の事例等から薬物乱用の現状をテーマに学びました。

講師が実際に教育現場を経た現在もずっと子どもたちと保護者の心に寄り添い続け、話せる環境づくりの大切さ、安心して失敗を語れる絆・居場所づくり。信じる心でつながる。ただ君が君でいれればいいんだ。と幸せのおすそわけをされているお話に心温まりました。

第3分科会

「学ぼう、考えよう人権について」
～ともに学ぶ活動を目指して～

討議 健全育成第3分科会

人権に関わるテーマごとに、現状や問題点などを調査し報告を行いました。参加者からは、各テーマに対しての質問や今後の活動への要望などをいただき、有意義な時間となりました。

今後も、人権教育について会員の皆様と「ともに学ぶ」活動を目指します。

第4分科会

「正しく怖がるインターネット」
～事例に学ぶ情報モラル～

講演 グリー株式会社社会貢献チームマネージャー

「ネットモラルエバンジェリスト」
小木曾健氏

知っているようで知らないネットとの関わり方を具体的な事例と共に解説いただきました。

むやみに怖がるのではなく、実生活で発言できないことはネットに書かないという単純なことや、「インターネットはただの道具である」とした上でどう活用するかなど、大人も子どもも理解しやすく、すぐ実践できる内容でした。

第5分科会

「コミュニケーションの大切さ」
～思いを伝える技術～

講演 東京工芸大学教授 大島武氏

壇上で話をするだけでなく、自ら参加者席に飛び込み、わかりやすく話すための秘訣や上手な話の聞き方、図形を言葉のみで伝えるゲームなど、会場が一体となった素晴らしい講演をしていただきました。

第6分科会

「高校生の保護者として知っておきたいこと」
～高大接続とポートフォリオ活用の未来～

講演 (株)ベネッセコーポレーション
学校カンパニー 教育支援企画部
教育情報センター課長 谷本祐一郎氏

新しい時代に必要となる「変化に対応できる力」を育成するための教育・入試改革について、ご自身の体験談等を交えて分かりやすく説明していただきました。

- ①高大接続改革の背景
- ②大学入試や共通テスト
- ③ポートフォリオ活用

の順に、多くの情報をコンパクトに整理することができ、保護者として子どもとの向き合い方の参考になる内容でした。

広報紙コンクール

「最優秀賞」は「七里ガ浜高校」、神奈川総合高校は「広報紙優秀賞・表紙コンクール優秀賞」のW受賞。

<p>優秀賞 神奈川新聞社賞 座間高校</p> 	<p>優秀賞 県教育委員会教育長賞 神奈川総合高校</p> 	<p>最優秀賞 七里ガ浜高校</p> 	<p>優秀賞 高P連校長賞 麻生総合高校</p> 	<p>優秀賞 安全振興会賞 西湘高校</p> 
<p>表紙コンクール優秀賞 神奈川総合高校</p> 	<p>安全振興会 写真賞 松陽高校</p> 	<p>写真賞 新城高校</p> 	<p>企画賞 海老名高校</p> 	<p>編集賞 藤沢総合高校</p> 
<p>奨励賞 厚木清南高校</p> 	<p>奨励賞 神奈川工業高校</p> 	<p>奨励賞 鶴見高校</p> 	<p>奨励賞 柏陽高校</p> 	<p>奨励賞 平塚中等教育学校</p> 

神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめる 「生徒総合補償制度」(団体総合生活保険)

おすすめ
ポイント1

団体割引
15%適用

おすすめ
ポイント2

24時間 365日
ケガや賠償事故を補償

おすすめ
ポイント3

個人賠償責任・国内無制限(国外1億円)
〈示談交渉サービス付き！(国内のみ)〉

神奈川県自転車条例にも対応！

大切なお子様を24時間しっかりサポートする「生徒総合補償制度」。2月頃に、学校を通じて生徒・保護者の皆様に「ご案内チラシ」を配布予定です。ご関心のある方は、是非パンフレットおよび加入依頼書をご請求頂き、ご加入をご検討下さい。

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。
詳細はパンフレットを、ご加入にあたっては、重要事項説明書を必ずお読みください。
ご不明な点がございましたらご案内チラシ・パンフレット等に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

(引受保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社
横浜中央支店 金融公務課
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア6階
TEL:045-224-3519

19-TC06724 2020年1月作成

教育委員会の掲示板

「かながわ教育月間」

県教育委員会では、かながわ教育ビジョンの理念の実現に向けて、県の教育の充実・振興に資するため、10月1日から11月3日までを「かながわ教育月間」としています。期間中には、県民の皆さんとかながわの教育について考える「かながわ人づくりコラボ」をはじめ、県内各地で様々な教育に関するイベントが開催されますので、ぜひお出かけください。

かながわ教育月間

県立高校改革

県教育委員会では、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。令和元年10月には、再編・統合により令和2年4月に開校する4校の新しい校名が決定しました。また、令和2年度からは県立高校改革実施計画(Ⅱ期)がスタートし、他校通級指導が始まるほか、令和3年度には神奈川総合高校に舞台芸術科を新設するなど、着実に取組を進めます。引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革

寄附のお願い

「まなびや基金」「奨学金基金」

①まなびや基金は、県立学校の物品購入・改修工事、グラウンドや中

庭の芝生化など、教育環境の整備に活用しています。

②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等への奨学金の貸付けに活用しています。

皆さんのご協力をお願いします。 ※詳しくは各ホームページをご覧ください。

【問合せ】

県教育委員会財務課、教育施設課
①電話 (045)210-8105
(まなびや基金全般に関すること)
電話 (045)210-8123
(芝生化に関すること)
②電話 (045)210-8251

令和2年度からのインクルーシブ教育実践推進校について(インクルーシブ教育推進課)

県教育委員会では、県立高校改革の一環として、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、茅ヶ崎高校、厚木西高校、足柄高校をインクルーシブ教育実践推進校に指定し、取組を進めてきました。令和2年度からは、県内すべての地域から通えるよう新たに11校を指定して、計14校で、すべての生徒が、相互理解を深めながら成長し、共生社会の担い手となるように取組を進めていきます。皆さまの一層のご理解とご支援をお願いします。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生のスマートフォン等でのイ

ンターネット利用が広がる中で、個人情報等の流出から犯罪に巻き込まれたり、他人への誹謗中傷に係る書き込み等が原因で人間関係におけるトラブルやいじめに発展したりするなど、さまざまな問題が多発しています。これらの問題の未然防止のために、フィルタリングの設定やスマートフォン等の使用に関するルールについて、ご家庭でお子様との話し合いをお願いします。

一人で悩まないでご相談ください!

いじめや不登校など様々な悩みは県立総合教育センターの教育相談へ「24時間子どもSOSダイヤル」

電話 0120-0-78310
0466-81-8111

24時間365日受付

「不登校ほっとライン(電話相談)」

電話 0466-81-0185

月～金 8:30～21:00

土・日・祝休日 8:30～17:15

(12月29日～1月3日を除く)

「Eメールによる相談」

soudan@edu-ctr.pref.kanagawa.jp

「来所による相談」(要予約)

電話 0466-81-8521

月～金 8:30～17:15

(祝休日、12月29日～1月3日を除く)

生涯学習情報を提供しています!

生涯学習情報システム「PLANETかながわ」では、講座・イベント、

指導者・人材、団体・グループなど約21,000件の中から学びの機会を広げる情報を検索できます。また、県立図書館の生涯学習情報コーナーでも、豊かな人生を実現する「生涯学習」を進めるための資料を多数取り揃えています。学習相談員による相談もできますので、併せてご利用ください。

【問合せ】

県立図書館 広報・生涯学習推進課
電話 (045)263-5916

PLANETかながわ

「PTA活動のためのハンドブック」をご活用ください

県教育委員会では、PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しており、令和元年度改訂いたしました。

また、このハンドブックの基本的な事項をまとめた概要版もあり、新しくPTAに入る方や役員となった方々を対象とした説明会や研修会等で、ご利用いただきやすいものになっています。

どちらも生涯学習課ホームページからダウンロードしていただけますので、目的にあわせてご利用ください。

かながわ PTA ハンドブック

神奈川県立(東部・西部)総合職業技術校からのお知らせ

「手に、職。」が未来を変える。

就職率
96.1%



かなテクカレッジで「プロの技術」を学び、ものづくり現場(航空・自動車産業等)等で働くプロフェッショナル(正社員)を目指そう。



地域から、コースから、自分にあった「かなテク」を選べます。

神奈川県内にある東部総合職業技術校・西部総合職業技術校では、3分野(工業技術・建築技術・社会サービス)・全24コースで、仕事に必要な知識・技術を身に付けることができます。さらに、就職専門スタッフを配置して就職活動をサポートします。

3分野・全24コース

工業技術	精密加工エンジニア、電気溶接・板金、機械CADなど
建築技術	住環境リノベーション、造園、木材加工など
社会サービス	ケアワーカー、給食調理、介護調理

令和3年4月生の募集

募集の種類	申込期間
若年者等(優先枠)	R2.10.5～11.2
I期	R2.11.27～12.7
II期	R3.1.12～2.8

スタッフによる職業相談や職業紹介できめ細かく就職をサポート。

体験入校 予約必要 無料
希望コースを2時間で体験

オープンキャンパス 予約不要 無料
校内見学と個別相談

バーチャルオープンキャンパス
VR動画でチェック!

かなテクカレッジ東部
(東部総合職業技術校)

TEL 045-504-2810

横浜市鶴見区寛政町 28-2

かなテク 東部

かなテクカレッジ西部
(西部総合職業技術校)

TEL 0463-80-3002

秦野市桜町 2-1-3

かなテク 西部

安全振興会報

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

令和2年度 会費、見舞金・修学奨励金給付

令和元年度定時評議員会にて、令和2年度会費等について次のとおり決定された。
(詳細は、ホームページにて掲載)

会費額変更なし

年額の会費額は変更無し。

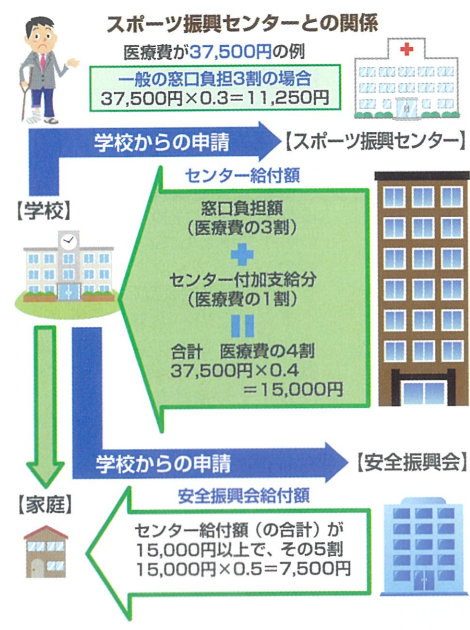
会費額	会費内訳			会費合計
	純掛金	付加共済掛金	一般会費	
高等学校 ^(※) 全	719	361	120	1,200
定	360	180	60	600
通	108	54	18	180
中等教育学校	719	361	120	1,200

単位：円
(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む

共済掛金(純掛金+付加共済掛金)については、『共済規程』及『共済規程の運用について』に基づき返金額・納入額を月割りに計算で行う。

見舞金給付について

- 死亡・障害・負傷等見舞金は、独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下、スポーツ振興センター)の災害の認定に準じ、次のように給付する。
- 死亡見舞金・スポーツ振興センターの給付額の5割
- 障害見舞金・スポーツ振興



センターの給付額の5割
※平成31年4月1日の災害より、スポーツ振興センター死亡見舞金・障害見舞金の最高額がそれぞれ3,000万円・4,000万円に増額
負傷等見舞金・同一の事由による災害に対するスポーツ振興センターの医療費給付額が15,000円以上となったとき、スポーツ振興センターの給付額の5割
※平成31年3月31日以前に発生した災害については、死亡見舞金・障害見舞金はスポーツ振興センターの給付額の7割、負傷等見舞金は6割
義歯見舞金・学校管理下の災害による負傷で、歯科補綴を受けた場合、障害見舞金の対象とならない2本以下の治療について1本あたり50,000円

修学奨励金給付について
修学奨励生の資格は(1)生活保護(2)準生活保護(3)児童福祉施設入所等のいずれか、または「その他特別の事情で学資の支弁が困難な者」とし、加盟する全校・全課程毎に各一名採用する。年額72,000円の修学奨励金は2回に分けて給付する。

供花料・生徒が死亡した場合(学校管理下か否かは問わない)100,000円
医療機関での窓口負担が無い場合の負傷等見舞金の給付について
平成31年4月1日以降の災害については、医療機関での窓口負担無しの場合、スポーツ振興センター給付額の4倍を給付額とみなし、その額が15,000円を超えた場合、その5割の負傷等見舞金を給付する。

安全・健康 生徒の提言

作文コンクール

応募数は898編(20校)で、入賞作品を次のように決定した。

- 最優秀賞2編は『安全振興会のご案内』(令和2年度版)に掲載した。会報第75号(9月発行予定)にも選考委員の講評とともに掲載する。また、12月8日の神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われた。
- 最優秀賞(2編)
池田結月(七里ガ浜)
コンビニ
鈴木こころ(新城)
「人参って綺麗ね」

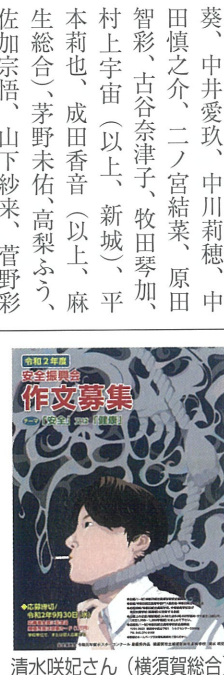


- 優秀賞(5編)
谷岡美彩、大塚葵依(以上、新城)、福里夏菜、栢里莉、野渡萌花(以上、七里ガ浜)
佳作(42編)

岩本桃佳(白山)
清水咲妃(横須賀総合)



岩本桃佳さん(白山)



清水咲妃さん(横須賀総合)

ポスターコンクール

応募数は121点(12校)で、次のように入賞者を決定し、1月19日の県高等学校総合文化祭閉会式で表彰した。また、最優秀作品の2点を原画としてポスターを作成した。

最優秀賞(2点)
佳作(12点)
龍宮香子(上矢部)、星洗(愛川)、福島隼、河野りさ(以上、横須賀総合)、武石葵、井出南、林梨緒奈、渡辺望花(以上、白山)、横山由莉、今西咲綺、安室朋華、豊島瑚青(以上、横浜隼人)

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
横浜市中区山下町一番地シルクセンター三二六号室
電話045-174-1819/FAX045-174-1819
URL http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp